

## 議案

## 第1号議案 平成28年度事業及び収支決算報告の件

## I 平成28年度事業報告

## 1. ロボットビジネスに関する情報交流・相談支援事業

## (1) 会員交流促進事業

○イブニングセミナー  
未実施。

## (2) セミナー事業

○シーズ発表会  
ジャパンロボットウィーク「サービスロボット・メカトロゾーン」内での技術発表

## (3) 会員紹介事業

○冊子「サービスロボット・メカトロゾーン出展企業ヒアリング報告書」の発行

## 2. ロボットに関する研究開発・実証実験支援事業

## (1) 共同研究等コーディネート事業

協力団体「SOSA地域活性化センター(特定非営利活動法人南斜面協議会)」が応募した経産省の公募事業「JAPANブランド育成支援事業」が採択となったことを受け、同事業に協力・参画し、会員企業のニーズをとりまとめた。

## (2) 実証実験支援

上海市内農場での実証に向けた関係者調整を実施。

## 3. ロボットに関する普及啓発・市場創出事業

## (1) 商談展示会事業

次の展示会等への出展及びパネル展示等

- ①スマートコミュニティー展(6月15日～17日、東京ビッグサイト)
- ②上海視察を兼ねた展示(7月6日～9日「CIRROS2016 中国国際ロボット展」)
- ③Japan Robot Week2016(10月19日～21日、東京ビッグサイト)

## (2) PR活動

○メールマガジンの配信  
(10回/平成28年4月～平成29年3月)

## 4. その他

## (1) 後援・共催等

○第23回かわさきロボット競技大会の後援  
会期:8月20日(土)～21日(日)  
会場:川崎市産業振興会館

II 平成28年度収支決算報告(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

科目	予算額	実績額	増減	備考
<b>1 収入の部</b>				
前年度繰越金	41,056	41,056	0	
会費収入	80,000	100,000	20,000	賛助会員費
事業収入	1,050,000	1,101,000	51,000	
特別会費	(350,000)	(388,500)	(38,500)	
負担金	(400,000)	(410,000)	(10,000)	
広告費	(300,000)	(302,500)	(2,500)	
管理費収入	(0)	(2)	(2)	受け取り利息
収入の部合計	1,171,056	1,242,058	71,002	
<b>2 支出の部</b>				
情報交流・相談支援事業	350,000	255,659	△ 94,341	
交流会費	(100,000)	(48,559)	(△ 51,441)	
会場費	(30,000)	(0)	(△ 30,000)	
相談実施費	(20,000)	(0)	(△ 20,000)	
会員PR費	(200,000)	(207,100)	(7,100)	
研究開発・実証支援事業	260,000	0	△ 260,000	
研究会運営費	(150,000)	(0)	(△ 150,000)	
実証実験実施費	(100,000)	(0)	(△ 100,000)	
事務局費	(10,000)	(0)	(△ 10,000)	
普及啓発・市場創出事業	140,000	459,840	319,840	
出展費	(100,000)	(300,000)	(200,000)	上海国際ロボット展等
制作費	(10,000)	(50,000)	(40,000)	
印刷費	(30,000)	(34,240)	(4,240)	
広告費	(0)	(75,600)	(75,600)	日刊工業新聞(予備費で対応)
その他	335,000	307,073	△ 27,927	
通信費	(5,000)	(0)	(△ 5,000)	
WEB関連費	(300,000)	(303,909)	(3,909)	HP更新、ドメイン・サーバー利用等
事務費	(30,000)	(3,164)	(△ 26,836)	振込手数料、コピー代
予備費	86,056	0	△ 86,056	広告費に充当
支出の部合計	1,171,056	1,022,572	△ 148,484	
当期収支差額	0	219,486		次期繰越金

本決算書の監査を実施した結果、適正であることを認めます。

平成29年 11月1日

監事 佐藤 宗勝

## 議案

## 第 2 号議題 平成 29 年度 事業計画案及び収支予算案の件

## I 平成 29 年度 事業計画案

## (I) 基本方針

かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会は、ロボットやロボット関連技術を活用したビジネス創出・産業化に向けて、新たなビジネスモデルや安全に関する社会のコンセンサスづくり、産学・産産連携の推進など、ロボットビジネスが成功する環境づくりに取り組む。

## (II) 事業内容

## 1 ロボットビジネスに関する情報交流・相談支援事業

## (1) セミナー及び会員交流促進事業

- 公開セミナー及び会員等の交流会を開催する。

『スマートファクトリー展（6月7日～9日、東京ビッグサイト）』、『国際ロボット展（11月29日～12月2日、東京ビッグサイト）』開催に合わせて実施する。（なお、参加費は無料となるよう配慮するが、講師謝金等について参加者負担とする場合もあり。）

## (2) 会員紹介事業

- ホームページ等における会員紹介を強化する。
- 日刊工業新聞社とのコラボレーション企画を立ち上げる。  
（例えば、会員企業や新製品情報の記事化に関する仲介など、新サービスの可能性を探る）

## 2 ロボット等に関する研究開発・実証実験支援事業

## (1) 共同研究等コーディネート事業

協力団体「SOSA地域活性化センター（特定非営利活動法人南斜面協議会）」が採択となった経産省公募事業「JAPANブランド育成支援事業」に引き続き参画し、会員企業のニーズをとりまとめる。

（上海協力農場における機器等の検証（実証実験）に当協議会の知見を活用する。）

## (2) 実証実験支援

県の公募型「ロボット実証実験支援事業」及び同重点プロジェクト事業への会員応募を支援するとともに、ニーズ等のヒアリングを実施する。

## 3 ロボットに関する普及啓発・市場創出事業

## (1) 商談展示会事業

商談・展示会へのパビリオン出展（団体割引のコーディネート）

【基本】年間2～3回程度

【候補】①スマートファクトリー展（6月7日～9日、東京ビッグサイト）

②上海視察を兼ねた展示（11月7日～11日「中国国際工業博覧会」等）

③国際ロボット展（11月29日～12月2日、東京ビッグサイト）

## (2) PR活動

- メルマガ定期発行（毎月第4水曜日）

これまでの事務局からの告知に加え、原稿基準を設け、会員等からも投稿料を得た上で対応を可能とするべく、検討を進める。

#### 4 その他

##### (1) 共催・後援事業の拡充

- 川崎市産業振興財団、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所等との連携強化を図る。特に2020年ロボットオリンピック（正式名称「ロボット国際競技大会」）の開催に向け、各種の新たな試み、事業展開が期待される中で、民間協議会としての立場・ネットワークを活かして、各種事業に貢献する。

#### II 平成29年度収支予算案（平成29年4月1日から平成30年3月31日）

（単位：円）

科目	予算額	前年度実績額	増減	備考
<b>1 収入の部</b>				
前期繰越金	219,486	41,056	178,430	
会費収入	100,000	100,000	0	賛助会員費
事業収入	1,050,000	1,101,000	△ 51,000	
特別会費	(350,000)	(388,500)	(△ 38,500)	交流・懇親会
負担金	(400,000)	(410,000)	(△ 10,000)	商談展示会、実証実験に伴う
広報協力費	(300,000)	(302,500)	(△ 2,500)	
管理費収入	(0)	(2)	(△ 2)	受け取り利息
収入の部合計	1,369,486	1,242,058	127,430	
<b>2 支出の部</b>				
情報交流・相談支援事業	330,000	255,659	74,341	
交流会費	(80,000)	(48,559)	(31,441)	懇親会開催費
会場費	(20,000)	(0)	(20,000)	
相談実施費	(20,000)	(0)	(20,000)	
会員PR費	(210,000)	(207,100)	(2,900)	
研究開発・実証支援事業	210,000	0	210,000	(前期予算から50,000円減額)
研究会運営費	(100,000)	(0)	(100,000)	
実証実験実施費	(100,000)	(0)	(100,000)	施設使用料等
事務局費	(10,000)	(0)	(10,000)	実証実験コーディネートに向けたヒアリング
普及啓発・市場創出事業	485,000	459,840	25,160	
出展費	(400,000)	(300,000)	(100,000)	国際ロボット展等
制作費	(50,000)	(50,000)	(0)	パネル等の作成
印刷費	(35,000)	(34,240)	(760)	協議会PR資料等の作成
広告費	(0)	(75,600)	(△ 75,600)	新聞広告等
その他	255,000	307,073	△ 52,073	
通信費	(5,000)	(0)	(5,000)	
WEB関連費	(220,000)	(303,909)	(△ 83,909)	HP更新、ドメイン・サーバー利用等
事務費	(30,000)	(3,164)	(26,836)	
予備費	89,486	0	89,486	
支出の部合計	1,369,486	1,022,572	346,914	
当期収支差額	0	219,486		

## 議案及び参考事項

## 第 3 号議題 役員選任の件

役員 7 名中 5 名について平成 29 年 6 月 30 日をもって任期が満了いたしましたので、役員 5 名の選任を提案します。

候補者は次のとおりです。なお、新任期は平成 31 年 6 月 30 日までとなります。

## 理事（案）

氏名	所属等	備考
岩森 耕太郎	川崎商工会議所 参与	再任（現理事長）
黒田 洋司	明治大学理工学部 教授	再任（現副理事長）
和田 博	ダブル技研株式会社 代表取締役	再任（現副理事長）
藤本 康孝	横浜国立大学 大学院 教授	再任
小川 秀樹	株式会社東芝 参事	再任

## （非改選役員）

氏名	所属等	備考（役職／任期）
馬来 義弘	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 理事長	理事／ 平成 30 年 6 月 30 日
佐藤 宗勝	公益財団法人川崎市産業振興財団 事業推進課長	監事／ 平成 30 年 6 月 30 日

## （参考事項）

かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会規約（抜粋）

## 第 4 章 役員

（種別及び定数）

## 第 1 1 条

協議会に次の役員を置く。

- （1）理事 3 人以上 15 人以下
- （2）監事 1 人以上 2 人以下

2 理事のうち、1 人を理事長とし、若干名を副理事長とすることができる。

（選任等）

## 第 1 2 条

理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

（職務）

## 第 1 3 条（略）

（任期等）

第 1 4 条 役員任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2～3（略）

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。